



会員企業をたずねる

女性の力、女性の声

このコーナーは、会員企業をたずね、物流業界で働く女性社員に業務内容や、職場の取り組み、個人の抱負などを語ってもらうコーナーです。



第28回

株式会社丸運

貨物輸送事業部

国際貨物東京営業所

業務課 課長

山本 香織さん

PROFILE

商社等で貿易業務に従事。2017年、丸運が国際物流部門の中途採用社員を募集したのを機に同社に入社。国際貨物東京営業所業務課に配属され、係長として国際物流業務に携わる。2020年7月、課長に昇進。現在に至る。千葉県出身。

管理職としての責任を実感

——現在の業務について教えてください。

創業から100年以上の歴史を持ち、お客様にさまざまな物流サービスを提供し続けている当社において、国際物流部門は後発部隊となりますが、社会環境の変化に対応すべく、中国およびベトナムの海外現地法人と連携した一貫輸送をはじめ、多様なフォワーダー業務を展開しています。当課はお客様のニーズに合わせ、航空および海上貨物の通関、輸出入手続き、保管、配送の調整までを担っており、私は課長として部下のマネジメントをしています。同時に、既存・新規のお客様対応にも携わっています。

——現職に就いたのはいつですか。

前職の経験から係長として入社し、課長になったのは2020年7月です。課長昇進について当時の上司から話があったときは本当に驚きました。課長の仕事は仲間のリーダー的存在である係長と違い、スタッフ一人一人の力を最大限に引き出し業績を上げることが責務であり、そうした役割を担っているほかの課長の方々は、長年勤められている方ばかりです。中途採用で経験の浅い私には務まらないと一瞬ひるんでしまいました。けれども、仕事を認めてもらっていることは大変ありがたいことですし、「サポートするからやってみなさい」との上司の言葉にも背中を押されました。

——管理職になって変化はありましたか

業務や周囲への見方が変わり、常に収支を考えるようになりました。同時に、部下はもちろんのこと、部下の家族も守らなくてはならないという責任を感じています。実は課長になって半年たった頃、自分の知識不足や経験不足から不甲斐ない思いが高じ、職場で感情的になってしまったことがあります。その際、当時の上司が「感情的になることで、今までの頑張りが無駄になってしまう」と注意してくれ、冷静になることができました。上司として部下に真摯に向き合う大切さも教えていただきました。

部下の活躍する姿がやりがい

——業務にあたる上で心がけていることを教えてください。

お客様との窓口である部下や、お客様のご要望に対応する現業スタッフの頑張りがあるからこそ、お客様からの信頼につながっていることを忘れないようにしています。また、皆のモチベーションを保つため、ほめたり声掛けしたりすることも大切です。今はコロナ禍で新入社員の歓迎会もできませんから、よりコミュニケーションの重要性を感じています。もともと当課には、新しく仲間入りした人を端には座らせない、という伝統があります。私自身も入社した際、周りの方々にとても助けられました。そうした伝統を大切に、私も文句の言いやすい職場

づくりをモットーにしています。部下たちもそれを実践してくれており、ありがたいと思っています。

——どんなことにやりがいを感じますか。

先ほど新規のお客様を対応しているとお話ししましたが、そのお客様から2回目の連絡をいただけるとうれしいですね。また、課長として仕事がしやすい環境づくりを心がけていますので、皆が活躍している姿を見るのは何よりうれしいですし、私自身のやりがいになっています。

——ワークライフバランスについて心がけていることなどがあれば教えてください。

仕事のことを考えずに何かに没頭することが、リフレッシュにつながると思い、休日は趣味の時間にあてています。15年前からフラメンコを始めました。歌い手やギター奏者とのアドリブの掛け合いもあり、踊っている最中はとても集中できます。海外旅行も好きですが、コロナ禍で難しかったため、今は過去の写真を見返したりして我慢しています。

——今後の抱負を教えてください。

まずは、一人前の管理職になることを目指しています。入社当時、目標にしていた先輩がいたように、私自身も皆の目標になれる人間になりたいと思っています。また、国際部門は当社の中でも新しい部署のため、他部署と関わるのがまだ少ないですが、歴史ある国内輸送と新規の国際輸送の連携により、世界を舞台にした一貫輸送の拡大も夢ではないと考

フラメンコを踊る山本さん▶



▲社員旅行にて、職場の皆さんと

えています。課題もあると思いますが、ぜひ実現させたいと思っています。

——物流業界で働く女性の皆さんにメッセージをお願いします。

最近の風潮なのか、ジェンダーを意識しすぎてかえっていろいろなことが窮屈になってしまっているように感じます。まだまだ女性が少ない業界ですが、性別を意識しすぎることなく、精いっぱい、自分のできること、すべきことに取り組んで、活躍の場を広げていってほしいと思います。

——ありがとうございました。

会社概要

株式会社丸運

本社：東京都中央区日本橋小網町7番2号

国際貨物東京営業所所在地：東京都港区芝大門1丁目2番8号 COSMIC BLDG 4階

創業：1892年（明治25年）9月21日

設立：1938年（昭和13年）12月17日

資本金：35億5,923万円

代表者：代表取締役社長 桑原 豊

事業所：90カ所（連結）

従業員数：2,326名（連結）378名（単体）（2020年4月1日）

【事業概要】

丸運は創業120年超の歴史を誇る総合物流会社として、「お客さまの物流ソリューションを最高の品質と創造力で革新します」を「わたしたちの使命」として掲げ、多様な物流ニーズに対応している。日用雑貨などの一般貨物、重量品・長尺物などの特殊貨物、石油製品・潤滑油などの液体危険物、食品・医療関連器具などの多温度帯製品など、多様かつ高品質な物流サービスの提供に努めている。

